

# けふばあちゃんからの手紙

## —その2— はるこちゃんへ

じゃりんこ文庫 乾 京子



去年のことです。公園の満開の桜が散って、葉桜になった頃でしたね。

「おばちゃん、はるこです。まだ、文庫やってはりますか？」

「うん、やっているよ。コロナの後、毎週じゃなくて月2回になったけれど、第2木曜日と第4木曜日、いつもどおり開けているよ。」

「子ども、連れて行っていいですか？」

こう、あなたから声をかけられた時、本当にうれしかった。コロナ後、常連さんも中学生になり、あと2・3人の小学生。(この子たちが卒業したら、文庫も閉じようかなあ、)そんな風に思っていた頃でした。

それから毎回のように、3人の子どもたち(お兄ちゃんの太郎くんは、車博士。真ん中のはなちゃんは、「じゃりんこ文庫」にやってきていた頃のはるこちゃんにそっくり!!末っ子の次郎君は、まるでカンガルー親子みたいにはるこちゃんの抱っこ紐の中)とやってきて、けふばあちゃんに絵本を読んでもらったり、お絵かきしたり、そして、数冊絵本を選んで、持って帰ります。

はるこちゃんは、覚えていないだろうけれど31年前、生協の共同購入で生協のお兄さんを待っている時のことが切っ掛けで文庫をすることになったんだよ。

我が家のガレージに莫塵を広げて、……まだあの頃は、お向かいに家も建っていないで原っぱだったね。

「生協のおにいさん、遅いねえ。絵本でも読んで待ってようか？」と、家から『だんまりこおろぎ』を持ち出して、「……こおろぎぼうやも あいさつしたくて ちいさな はねを こし・こし・こし でも あらら おとがでないよ うたえない……」

「がが ひらひらと おともなく とおくに きえていったあと こおろぎは なかまの おんなのこを つけました

そのこも とても しずかな こおろぎでした

こおろぎは もういちど はねをこすって そのこに あいさつしようと おもいました

そして こんどは……………」

読みながら、みんなの表情を見ながら、そうとページをめくりました。

「こおろぎは うたいました！ いままで だれも きいたこともないような きれいな きれいな うたごえで！」  
そうしたら、絵本の中から、キリリ コロロ キリリ コロロコ…とほんとうのこおろぎの鳴き声がして、はるこちゃんたちは、目をまん丸くして、「ええ～っ、！こおろぎさんがはいつてる？」

あの頃のはるこちゃん、はなちゃんを見るたび思い出します。

「ここに引っ越してくる前、マンションの集会室でこども文庫を10年ほどしていて、今も時々行っているの。」と話したら、はるこちゃんたちのお母さんが「けふばあちゃん、ここでもやってくださいよ。」

そう、それから1年後。文庫仲間に手伝ってもらったり、大津市立図書館に団体貸し出しの申請書をだしたり、本や本箱や文房具と準備を重ねて、1994年4月23日に「じゃりんこ文庫」オープニングおたのしみ会を開きました。おはなしおばちゃんの素話、おもちゃライブラリー「ぴよんぴよん」のパネルシアター、けふばあちゃんのめくり絵、竜の谷文庫のおばちゃん、「じごくのそうべい」や「ハのハのこたろう」の読み聞かせにおなかを抱えて笑っていたみんなの顔を思い出します。「じゃりんこ文庫日誌」を見ると、オープニングの日は近所の子どもたち14人におとなたち20人。おとな(けふばあちゃんのお友達や文庫の仲間)の方が多いオープニングでしたが、翌週からのふつう文庫には、友だちを誘ってきてくれる子もあり、「じゃりんこ文庫」は最初から結構賑やかなスタートになりました。

下の写真は、あの頃のおはなしおばちゃんの「コンチのおはなし」を聞いている時の写真です。ここに写っているえつこちゃんも去年の秋から、10か月のショウ君とやってくるようになって、だんだんにあの頃のような「じゃりんこ文庫」になってきましたね。太郎君がお絵かきの延長で作ってくれたミニ絵本『しょうぼうしゃ』、ちゃんと物語になっていて感心してしまいました。いつも、使ったおもちゃはちゃんと後片付けしてくれる几帳面なはなちゃん。抱っこ紐を卒業して、ショウくんやお隣のこちゃんにおもちゃを貸してあげたり、一緒に遊んだり、ちよっとだけ先輩って顔をしている次郎君。また、いろんなドラマを展開してくれるだろうな？と、たのしみにしています。

けふばあちゃんは、「子どもたちが子ども時代を子どもとして、のびのびいきいきと過ごしてほしい」と願っています。子どももおとなも一緒に心を遊ばせて、ゆったりと過ごせる『場』になったらいいなあと感じてきました。そうして「じゃりんこ文庫」は30年たって、おとなになったはるこちゃんたちを迎えています。こんな喜ばしいこと、うれしいプレゼントがあるでしょうか？ 以前のように動けません、はるこちゃんたちに助けていただきながら、また子どもたちの成長の一場面に立ち合わせていただけることをととてもうれしく思っています。

「こんにちは～、おじゃましま～す」元気な声が聞こえてきます。

「いらっしゃ～い。どうぞどうぞ！ あいてるよ～！」



おはなしおばちゃんとこどもたち  
(1994年)



『しょうぼうしゃ』  
(2024年)

